

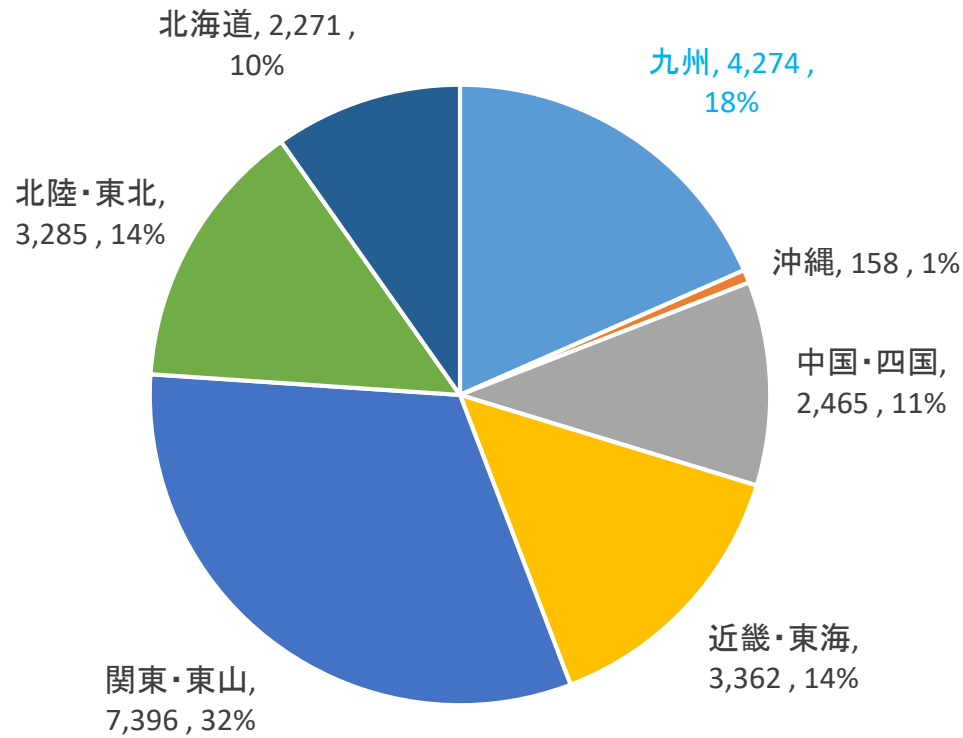
「九州における卸売市場の役割と 物流拠点としてのSP構想について」

2020年12月9日

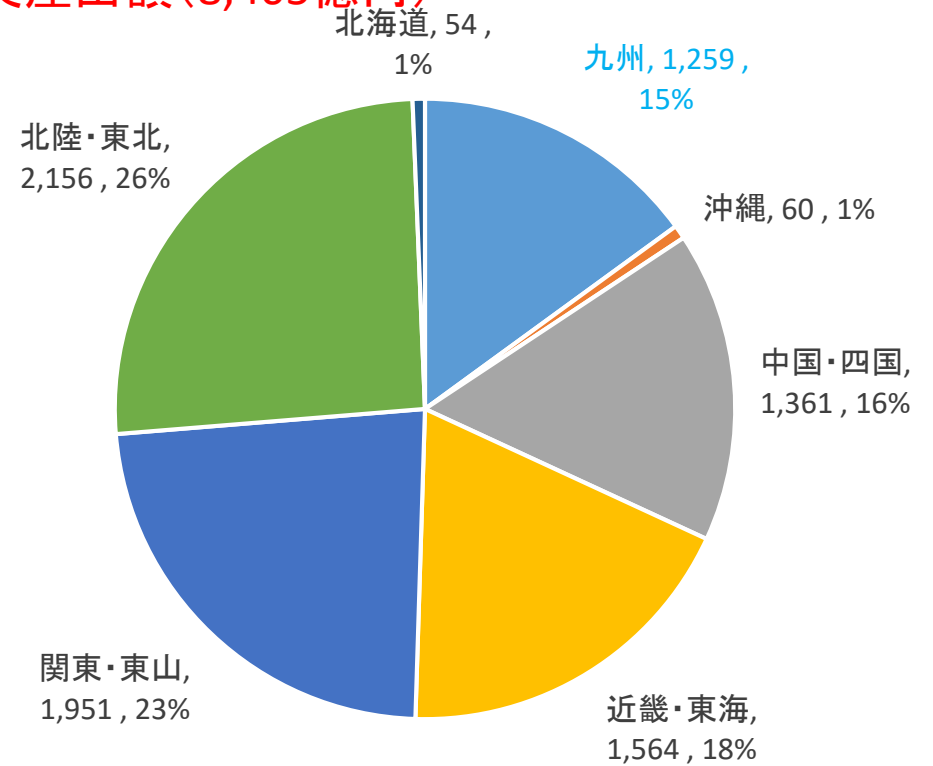
北九州青果株式会社
代表取締役社長 百合野 博

国内産野菜・果実の地域別産出額

野菜産出額(23,212億円)



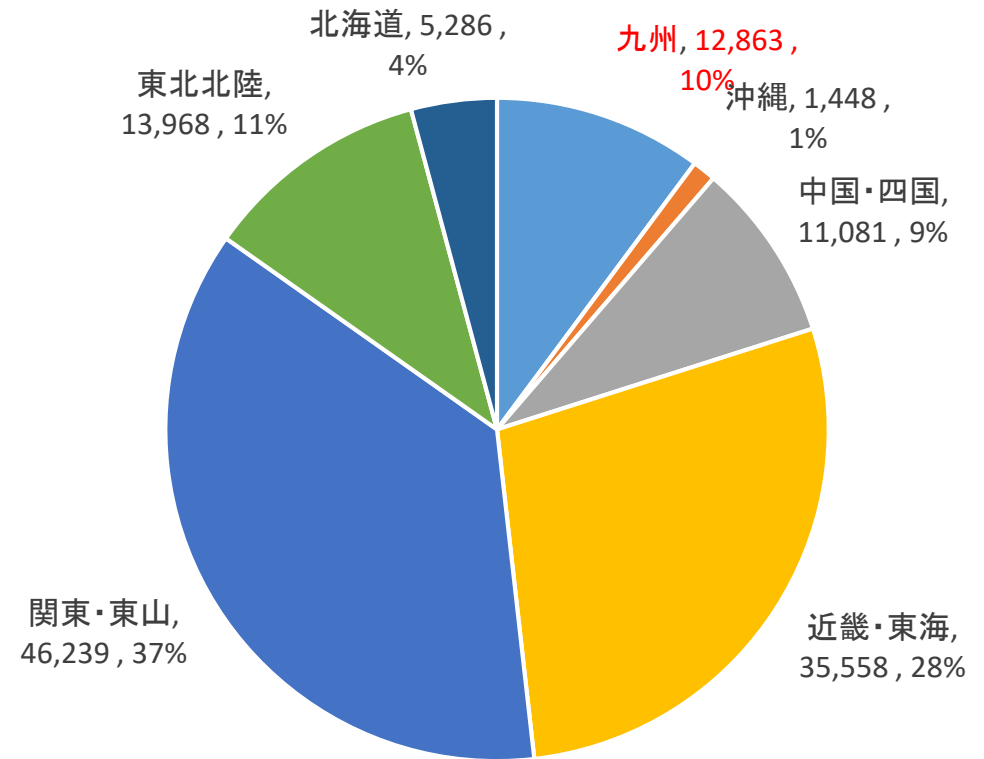
果実産出額(8,405億円)



九州は全国向けの野菜・果実の供給基地

- 九州の人口は12,863千人で全国
の人口126,443千人の10.1%
- 九州の野菜の産出額は4,274億
円、全国合計の23,212億円の
18.4%
- 九州の果実の産出額は1,259億
円、全国合計の8,405億円の
15.0%

日本の地域別(総人口 126,443千人)



総務省統計局「人口推計」平成30年推計人口

九州の野菜・果実の県別特産品の特徴

九州では地域性豊かな産地・産品が各県に多く存在している

	野菜	果実
福岡県	ネギ(博多万能ねぎ)、なす(博多なす)	いちご(博多あまおう)、キウイ(博多甘塾娘)
佐賀県	玉ねぎ(生産量全国第2位)、蓮根	ハウスみかん(収穫量全国第1位)
長崎県	じゃがいも(ジャガタラ芋伝来の地)	ビワ(茂木枇杷発祥の地)
熊本県	トマト(生産量日本一)	西瓜(生産量日本一)、デコポン(登録商標)
大分県	さつまいも(甘太くん:品種ベにはるか)	かぼす(大分かぼす)
宮崎県	きゅうり、ピーマン(栄養機能食品)	マンゴ(太陽のたまご)、キンカン(たまたま)
鹿児島県	さつまいも(安納芋、シルクスweet)	甘夏(紅甘夏)

北九州市中央卸売市場の県別入荷実績

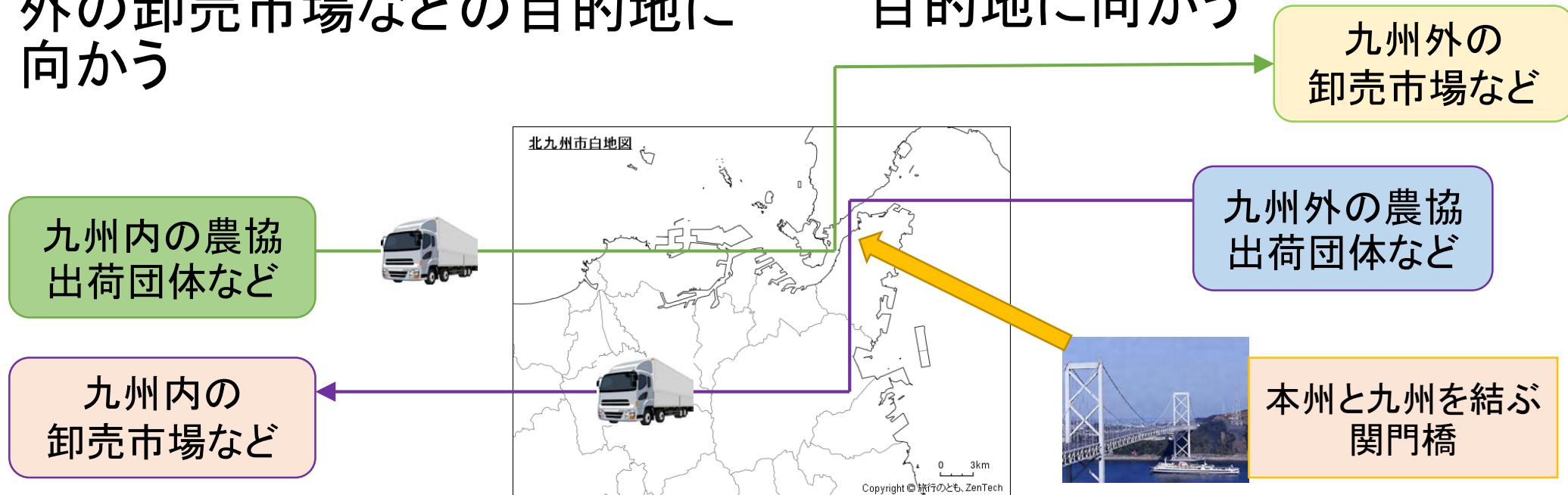
		野菜	果実	合計
九州	福岡県	4,072	2,121	6,193
	大分県	2,226	598	2,834
	熊本県	2,128	1,078	3,206
	佐賀県	1,063	64	1,127
	長崎県	1,270	504	1,774
	宮崎県	1,979	207	2,187
	鹿児島県	1,638	37	1,675
	小計	14,376	4,609	18,986
本州・中国・四国他		3,703	3,064	6,767
北海道		3,019	53	3,072
海外		589	3,484	4,072
合計		21,687	11,210	32,897

北九州市中央卸売市場 2019年入荷実績(単位:百万円)

九州と本州を結ぶ野菜・果実の物流の実態

- 九州の各県、各農協からトラック便を利用し、関門海峡を高速道路・トンネルを經由して九州外の卸売市場などの目的地に向かう

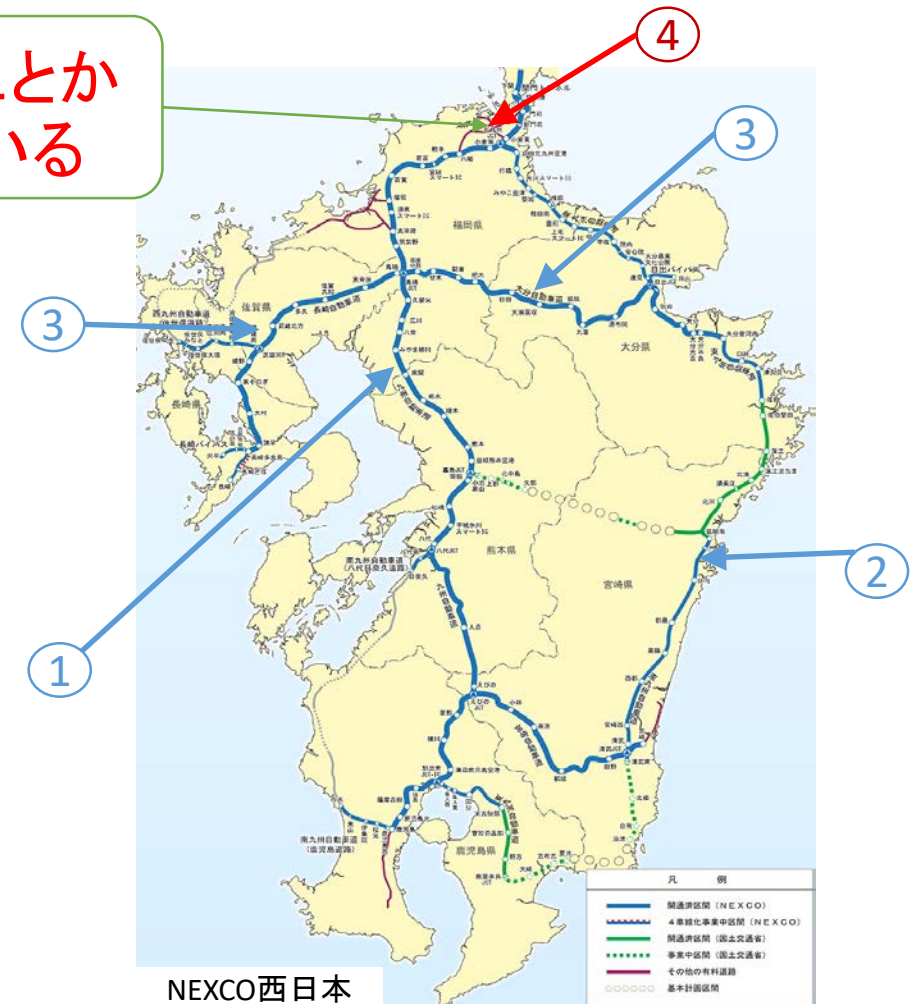
- 九州外から関門海峡を高速道路・トンネルを利用したトラック便で九州内の卸売市場などの目的地に向かう



北九州市の物流拠点としての立地条件 1

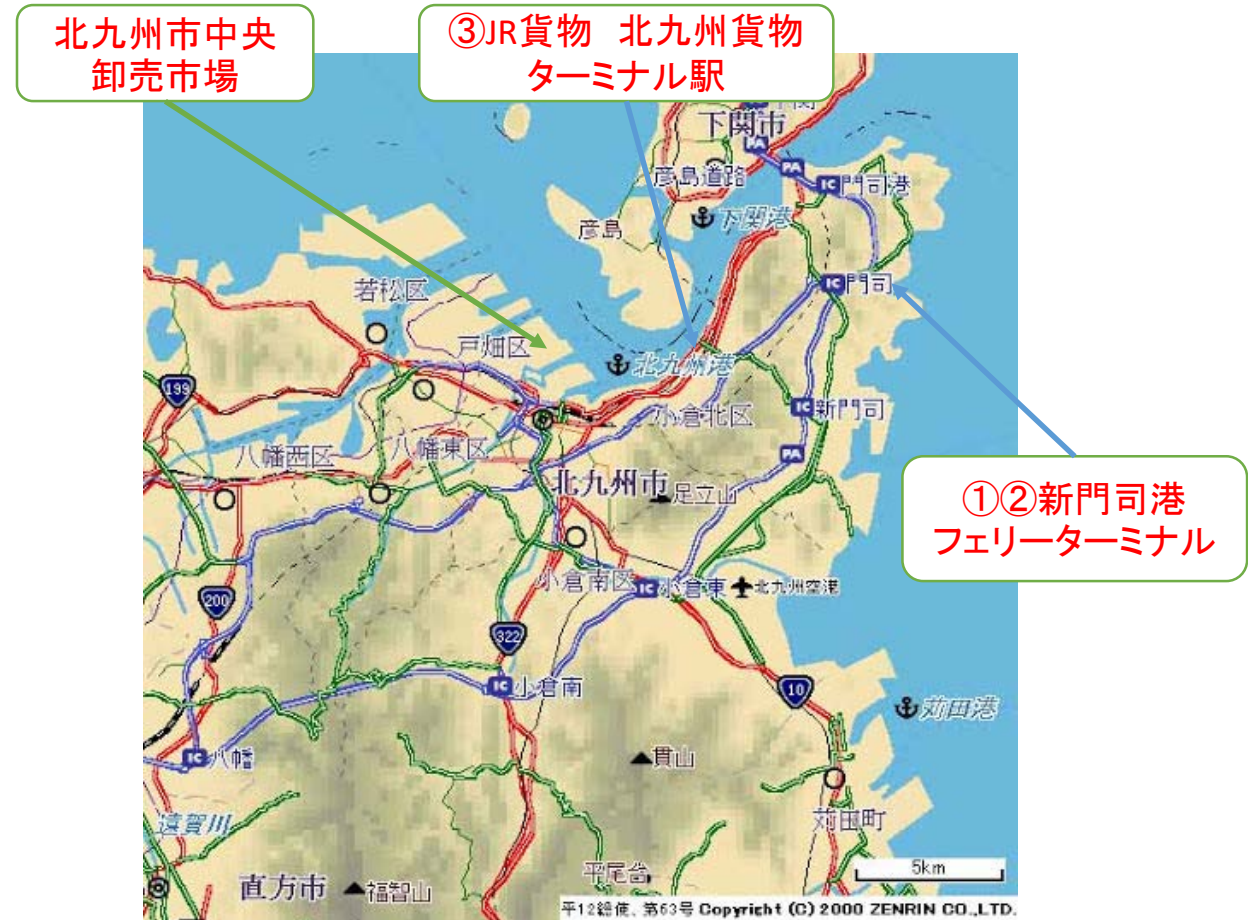
北九州市は高速道路ネットワークに直結していることから九州の産地並びに本州との結節点に立地している

- ① 福岡県を起点とし熊本県から鹿児島県を結ぶ「九州道」
- ② 福岡県を起点とし大分県・宮崎県を経由して鹿児島県を結ぶ「東九州道」
- ③ 長崎県・佐賀県と熊本県・大分県を東西に結ぶ「長崎道・大分道」
- ④ 北九州市内の北九州都市高速道路



北九州市の物流拠点としての立地条件 2

- ① 北九州市内の新門司港より横須賀港行き**大型フェリー**（16千トン）が日曜を除く毎日、来年7月に就航予定
- ② 北九州市内の新門司港より神戸港並びに大阪南港行きの**大型フェリー**（最大16千トン）が毎日1便ずつ就航中
- ③ 北九州市内の九州の玄関口である門司駅に**JRコンテナ**の集荷基地である貨物ターミナル



北九州市中央卸売市場はストックポイント(SP)の適地である

ストックポイントとしての立地条件

- 北九州市中央卸売市場は、北九州市内に設置されている
- 北九州市中央卸売市場は、北九州市都市高速道路・日明ランプから2キロの地点に位置している
- 北九州市中央卸売市場は、北九州都市高速道路を經由して九州自動車道・中国自動車道と直結している

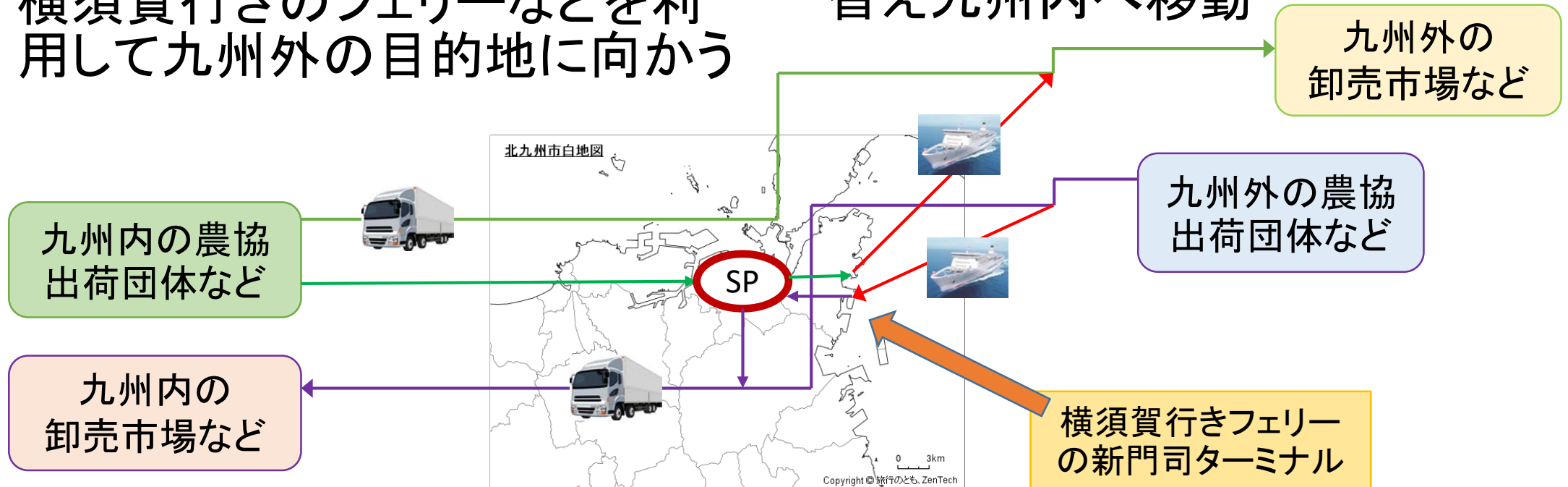
ストックポイントとしての機能

- 北九州市中央卸売市場は、24時間、365日荷降ろし、積み込みをすることが可能である
- 北九州市中央卸売市場は、荷降ろし後に荷物を一時保管することが可能である
- 北九州市中央卸売市場は、大型トラック等が施設内に乗り入れ、雨天でも作業が可能である

九州と本州を結ぶ北九州ストックポイント構想

- 九州の各県、各農協からのトラック便に加えて、北九州SPにて大型トレーラーに積み替え、横須賀行きフェリーなどを利用して九州外の目的地に向かう

- 九州外からのトラック便に加え、北九州向けフェリーなどから北九州SPにて普通トラックに積み替え九州内へ移動



北九州市中央卸売市場の物流拠点としての可能性と課題

現 状	課 題
市場に到着するトラック又はJRコンテナには荷物がパレットを使用せずに、直置きとなっているため、荷降ろしの際にパレットに手作業で載せかえなければならない	物流拠点実現には、産地等の出発地においてパレット上に荷物を載せた状態で入荷し、荷降ろしすることによって、再度の荷物積込みを効率化する必要がある
中央卸売市場の基本機能である市場内取引を重要視していることから、市場内で販売する農産物を中心に荷降ろし・荷捌きしている	物流拠点化実現には、施設として市場取引の場である卸売場のほかに、九州の玄関口の地の利を生かした物流機能のための整備が必要
建設後45年が経過していることから、市場内には、青果物の品質管理を行うための低温並びに定温の冷蔵設備が不足している	物流拠点化実現のためには、積替えのための通過青果物の品質管理を目的とした、冷蔵保管施設も必要

卸売市場におけるパレット使用時の荷降ろし時間

パレットを使用せずトラック荷台に直置

区分	大型トラック(13トン車)
乗務員(荷下ろし)人数	1名
積載方法	バラ積み 直置き
積載箱数	1,200箱
荷下ろし所要時間	3時間程度

パレット上に荷物を乗せた上で積載

区分	大型トラック(13トン車)
乗務員(荷下ろし)人数	1名
積載方法	1,100×1,100パレット使用
積載箱数	16パレット (1,152箱)
荷下ろし所要時間	30分程度

北九州中央卸売市場における熊本県産みかんの荷下ろし調査実績